

グループホームぶどう苑
小規模多機能ホームぶんどかんど

令和 7 年度 第 1 回運営推進会議

日 時 令和 7 年 5 月 15 日（木） 14 時 00 分～
会 場 グループホームぶどう苑 談話室

次 第

- 1 開会
- 2 法人理事長挨拶
- 3 報告及び質疑
 - 1) グループホームぶどう苑の運営状況について
 - 2) 小規模多機能ホームぶんどかんど運営状況について
- 4 要望等意見交換
 - 1) 推進員から（地域から）のご意見・ご要望
- 5 サービス評価についての報告
- 6 その他

次回開催予定日 令和 7 年 7 月 17 日 （ 木 ）
会 場 ： グループホームぶどう苑 談話室

- 7 閉会

グループホームぶどう苑
小規模多機能ホームぶんどかんど

令和7年度 運営推進会議委員名簿

敬称略

氏 名	構 成 区 分	備 考	
1 小原 貴子様	家族代表	グループホーム利用者 家族	
2 清水 正子様	地域住民代表		
3 下田 貞子様	地域住民代表		
4 川村 均様	社会福祉協議会		
5 清水 絵理様	地域包括支援センター	大迫地域包括支援センター	
6 岩崎 純子様	市町村職員	大迫総合支所 市民サービス課	
7 佐々木 敬尚	事業所職員	法人理事長	
8 佐々木 尚之	事業所職員	法人副理事長	

【 施 設 関 係 職 員 】

氏 名	職 名
1 佐々木 貴洋	法人施設長
2 三浦 美子	グループホームぶどう苑 管理者
3 桐田 昌子	小規模多機能ホームぶんどかんど 管理者

グループホームぶどう苑の運営状況について

グループホームぶどう苑 利用者状況

■認知症対応型共同生活介護事業所 令和7年 3月 実績

○要介護別内訳（R7.3月末現在）

要支援 2	0名
要介護 1	5名
要介護 2	7名
要介護 3	5名
要介護 4	0名
要介護 5	1名
計	18名

月初利用者 18名
新規利用者 1名
利用終了者 1名
月末時点利用者 18名

※平均介護度 2.19

○利用状況・実績

	介護度	年齢	性別	住所	備 考
1	5	83	女	花巻	ADLは全介助になっている。先月から低血圧・脱力・無呼吸による酸素濃度の低下が数回みられた。数分後回復する。主治医に報告すると血圧が下がった為の迷走神経反射が考えられる。また血圧が高いのであれば脳梗塞の可能性も考えられる。その際はここ（国立機構花巻病院）では受け入れできないと話がありました。様子観察しております。
2	3	85	女	石鳥谷	令和7年1月に区分変更申請を行い、要介護2から要介護3に変更となる。（R7.5/1～）
3	1	83	男	花巻	現在、主治医は総合花巻病院となっているが、待ち時間が長く本人の負担となっている。家族様と話し合い施設の近くの医療機関に変更となりました。
4	2	91	女	花巻	R6.2 入所。脳梗塞発症後、軽度の左片麻痺の残存はあるが日常生活は自立されている。弱視や難聴ではあるがレク活動など参加し楽しめている。
5	1	82	女	花巻	R6.1 入所。右目がほとんど見えない為、方向転換時など注意が必要である。日常の日課は大体把握できており自分のペースで生活されている。

6	2	88	女	大迫	R6.10 入所。要介護2。主たる介護者(嫁)の体調不良の為、自宅介護が難しくなり入所となる。ほぼ自立はできているが短期記憶が著しく低下しており常に見守りが必要としている。
7	1	84	女	花巻	R6.10 入所。要介護1。生活保護受給者。他施設(グループホーム)に入所されていたが、生活保護受給者の受け入れは難しいとの事で当施設に移設となる。ほぼ自立した生活が出来てはいるが、短期記憶の低下がみられており随時声掛けを行っている。
8	2	88	女	東和	R6.11 入所。要介護2。小規模多機能ホームいづなを利用していたが、以前よりグループホーム入所希望されていた為の移動となる。一部介助を必要とするが自分のペースで身の回りのことを行われている。
9	2	83	女	花巻	R6.12 入所。要介護2。他グループホームに入所されていたが、施設が閉鎖されることから申し込みがあり入所となりました。短期記憶の低下はあるものの日常生活は見守りや声掛けを行い自分で行うことが出来ている。
10	3	60	男	花巻	R4.7 入所。血管性認知症、器質性精神障害があり、中等度の認知症を診断。第2号被保険者で生活保護受給者です。
11	3	93	女	大迫	R4.11 入所。1/6 40度の熱発にて救急車要請し東和病院へ搬送される。肺炎の診断と腸が腫れており脱腸を起こしているとのこと。12日間の入院治療で帰苑される。
12	1	88	男	花巻	体を動かす事を日課としており、週に2回程度は外を散歩し、施設内や階段の往復を数回繰り返し自ら努力している。塗り絵が得意で、いつも夢中に行っている他、手伝いを率先して行っている。腸のヘルニアが増幅しており手術を進められているが本人拒否されている。状態観察しケアしていく。
13	1	77	女	花巻	体を動かすことやお手伝いを生きがいとしており、茶碗洗いや散歩を日課としております。週2回程度ですが街中を散歩しております。介護保険更新にて要介護1の現状維持判定。
14	1	77	女	花巻	体を動かすことやお手伝いを生きがいとしており、茶碗洗いや散歩を日課としております。週2回程度ですが街中を散歩しております。介護保険更新にて要介護1の現状維持判定。
15	3	90	女	大迫	アルツハイマー型認知症の診断を受けており内服治療している。夕方に帰宅願望があるが傾聴や話題をそらす事により落ち着く。アルツハイマー型認知症の診断を受けており内服治療している。
16	2	87	女	石鳥谷	R6.7 入所。歩行が不安定の為、見守りが欠かせない状態にある。発熱・のどの痛みの症状から受診される。なかなか症状が軽減されず再受診した際、軽い肺炎を起こしていた。
17	2	89	女	石鳥谷	R7.2 入所。生活保護受給者。入所前は小規模多機能ホームいづなを利用していたが、独居生活が困難となり GH 入所となる。2/17 夜間帯に 40 度の高熱と呼吸困難・酸素濃度低下にて救急車要請し東和病院に入院となる。胆のうが腫れているほか大きな石が確認される。それが原因か急性心不全も起きているとの診断で入院となる。(2月28日退院)
18	3	89	女	大迫	R7.2 入所。GH を希望されており空き待ちながら昨年よりぶんどかんど長期宿泊を利用していた。自発的に行動することが少なく、生活全般に声掛けを行い生活されています。

■ 苦情・要望 0 件

■ 事故報告

	件数	内 容
	3 件	GH1 : 1 件 GH2 : 2 件 (椅子からのずり落ち・内服薬のセットミス×2)
気付きハット (ヒヤリハット)	1 件	GH1 : 1 件 GH2 : 0 件

特定非営利活動法人とにもあゆむ会

事故報告

事例 1 M様 男声 83 歳 要介護 1

発生状況 : 夜勤者が翌日の薬セットの際に朝食後薬 1 袋が残っていることに気付く。

その後の対応 : 当日の薬の空袋を確認し 2 袋のうちの 1 袋しか服用していないことを確認した。

要因・対策 : 2 袋をホチキス止めしていたが離れていた。

介助した職員は働き始めて間もない為、まだ薬を把握出来ていなかった。

服用後、チェックした職員はセットされていると思い込み確認をおろそかにしてしまった。

セットが不安と感じた場合は他のスタッフと照らし合わせる。

活動等実績

● 研修、行事、視察受け入れ等実績状況 (GH1…ぶどう苑第 1) (GH2…ぶどう苑第 2)

日 付	区 分	内 容
3/1	行 事	誕生会 (GH2)
3/3	行 事	・ ひな饅頭作り (GH1) ・ 手作りおやつ (プリン) GH2
3/3	研 修	身体拘束勉強会 (GH2)
3/6	行 事	習字教室 (GH2)
3/12	行 事	手作りおやつ (シュークリーム) GH1
3/14	行 事	ホワイトデー (クッキー作り) GH1
3/15	行 事	・ 誕生会 2 名様 (GH1) ・ 手作り昼食会&手作りおやつ会 (プリン) GH2
3/19	行 事	手作り昼食会 (焼きそば) GH1
3/20	行 事	彼岸団子作り (GH1)

■会議等

日 付	会 議 名 称	内 容
3/6	運営推進会議	利用者状況報告等
3/13	介護事業リスク等検討委員会	身体拘束・高齢者虐待・リスク等
3/18	ぶどう苑第 2 会議	ケアプラン説明、利用者の処遇、業務改善等
3/21	ぶどう苑第 1 会議	ケアプラン説明、利用者の処遇、業務改善等

グループホームぶどう苑 利用者状況

■認知症対応型共同生活介護事業所 令和7年 4月 実績

○要介護別内訳 (R7.4月末現在)

要支援 2	0 名
要介護 1	5 名
要介護 2	8 名
要介護 3	3 名
要介護 4	0 名
要介護 5	1 名
区分変更中	
計	17 名

月初利用者 18 名

新規利用者 0 名

利用終了者 1 名

月末時点利用者 17 名

※平均介護度 2.16

○利用状況・実績

	介護 度	年 齢	性 別	住所	備 考
1	5	84	女	花巻	ADLは全介助になっている。先月から低血圧・脱力・無呼吸による酸素濃度の低下が数回みられた。数分後回復する。主治医に報告すると血圧が下がった為の迷走神経反射が考えられる。また血圧が高いのであれば脳梗塞の可能性も考えられる。その際はここ（国立機構花巻病院）では受け入れできないと話がありました。様子観察しております。
2	3	86	女	石鳥谷	1月に区分変更申請を行い、要介護2から要介護3に変更となる。
3	1	83	男	花巻	R6.1 入所。毎日のように「いつまで泊まるんだ。支払いは滞ってないか？」と何度も話されるので、傾聴することや作業をお願いすることで不安な気持ちは和らぐようです。
4	2	91	女	花巻	R6.2 入所。脳梗塞発症後、軽度の左片麻痺の残存はあるが日常生活は自立されている。弱視や難聴ではあるがレク活動など参加し楽しまれている。
5	1	82	女	花巻	R6.1 入所。右目がほとんど見えない為、方向転換時など注意が必要ある。日常の日課は大体把握できており自分のペースで生活されている。
6	2	88	女	大迫	R6.10 入所。要介護2。主たる介護者(嫁)の体調不良の為、自宅介護が難しくなり入所となる。ほぼ自立はできているが短期記憶が著しく低下しており常に見守りが必要としている。
7	1	84	女	花巻	R6.10 入所。要介護1。生活保護受給者。他施設(グループホーム)に入所されていたが、生活保護受給者の受け入れは難しいとの事で当施設に移設となる。ほぼ自立した生活が出来てはいるが、短期記憶の低下がみられており随時声掛けを行っている。
8	2	88	女	東和	R6.11 入所。要介護2。小規模多機能ホームいづなを利用していたが、以前Rよりグループホーム入所希望されていた為の移動となる。一部介助を必要とするが自分のペースで身の回りのことを行っている。

特定非営利活動法人ともにあゆむ会

9	2	83	女	花巻	R6.12 入所。要介護2。他グループホームに入所されていたが、施設が閉鎖されることから申し込みがあり入所となりました。短期記憶の低下はあるものの日常生活は見守りや声掛けを行い自分で行うことが出来ている。
10	3	61	男	花巻	R4.7 入所。血管性認知症、器質性精神障害があり、中等度の認知症を診断。第2号被保険者で生活保護受給者です。
11	3	93	女	大迫	R4.11 入所。1/6 40度の熱発にて救急車要請し東和病院へ搬送される。肺炎の診断と腸が腫れており脱腸を起こしているとのこと。12日間の入院治療で帰苑される。 退院後は食事形態がミキサー食であったが、現在は体力も回復しており普通食を提供しておりました。
12	1	88	男	花巻	体を動かす事を日課としており、週に2回程度は外を散歩し、施設内や階段の往復を数回繰り返し自ら努力している。塗り絵が得意で、いつも夢中で行っている他、手伝いを率先して行っている。腸のヘルニアが増幅しており手術を進められているが本人拒否されている。状態観察しケアしていく。
13	1	78	女	花巻	体を動かすことやお手伝いを生きがいとしており、茶碗洗いや散歩を日課としております。週2回程度ですが街中を散歩しております。 介護保険更新にて要介護1の現状維持判定。
14	3	90	女	大迫	アルツハイマー型認知症の診断を受けており内服治療している。夕方に帰宅願望があるが傾聴や話題をそらす事により落ち着く。アルツハイマー型認知症の診断を受けており内服治療している。
15	2	90	女	花巻	入所後より帰宅願望は続いている。強く興奮することもみられるが散歩やお手伝いの声掛け等で気分転換をはかり様子をみている。 食欲の低下があり体重の減少が気になり受診時に相談した。高カロリーが処方となり様子みることとなる。
16	2	87	女	石鳥谷	R6.7 入所。歩行が不安定の為、見守りが欠かせない状態にある。 日々の生活の中で食事拒否や興奮する事が増えてきております。受診時も興奮し主治医に暴言を吐く事があり以前の酷い状態に戻りつつ事からテープの薬ではなく飲み薬に変更し様子を観察し次の受診時に報告する予定です。
17	2	89	女	東和	R7.2 入所。生活保護受給者。両下肢の浮腫みが酷く体重も増加している状況。主治医に相談した所、「先月より悪化している。薬を継続して服用し次の受診時に水分制限等の調整を検討していきます」とお話がありました。歩行時等の見守りを行い転倒に注意しながら支援しております。
18	3	89	女	大迫	R7.2 入所。GHを希望されており空き待ちながら昨年よりぶんどかんど長期宿泊を利用していた。自発的に行動することが少なく、生活全般に声掛けを行い生活されています。 4/23 以前より申し込みされていた特別養護老人ホーム桐の里へ入所にて退所となる。

■ 苦情・要望 0 件

■ 事故報告

	件 数	内 容
事故報告	4 件	GH1： 1 件 GH2： 3 件 (尻もち・薬品管理・打撲)
気付きハット (ヒヤリハット)	2 件	GH1： 1 件 GH2： 1 件

事故報告

事例1 S様 女性 90歳 要介護3

発生状況：入浴時、左胸脇に内出血確認する。その日の朝にも左頬が腫れている事に気付く。

原因・要因：転倒した報告は聞かれておらず、いつどうしてなったかは不明。職員間ではベッドガードへの打撲等考えた。

反省・対策：いつも以上に気を付けて介助を行う。
ベッドガードに布を巻いて様子をみてる。

活動等実績

● 研修、行事、視察受け入れ等実績状況

日 付	区 分	内 容
4/13	行 事	習字教室 (GH1)
4/13	行 事	花巻市一斉清掃に参加
4/15	行 事	習字教室 (GH2)
4/17	行 事	お花見会 (GH2)
4/22	行 事	お花見おやつ会 (GH1)
4/23	行 事	紙芝居鑑賞 (GH1 GH2)
4/27	行 事	誕生会 (GH2)

■ 会議等

日 付	会 議 名 称	内 容
4/10	介護事業リスク等検討委員会	身体拘束・高齢者虐待・リスク等
4/22	運営会議	事業所状況報告と運営に関する会議
4/22	ぶどう苑 第2会議	ケアプラン説明、利用者の処遇、業務改善等
4/24	ぶどう苑 第1会議	ケアプラン説明、利用者の処遇、業務改善等

小規模多機能ホームぶんどかんの運営状況について

小規模多機能ホームぶんどかんど 利用者状況

■小規模多機能型居宅介護事業所 令和 7 年 3 月 実績

○要介護別内訳（R7.3 月末現在）

要支援 1	1
要支援 2	1
要介護 1	3
要介護 2	2
要介護 3	4
要介護 4	2
要介護 5	1
更新中	0
計	14

※介護度区分変更手続き中の利用者を含む
（申請時点の介護度を計上）

月初利用登録者 14 人
新規利用登録者 1 人
利用終了者 1 人
月末時点利用登録者 14 人

※平均介護度 2.34

○利用状況・実績

	介護 度	年 齢	性 別	住所	通い (回)	訪問 (回)	宿泊 (回)	備 考
1	3	89	女	石鳥谷	31	0	31	長期宿泊サービスを利用。車イスを使用している。全体的に動きはゆっくりですが自立していました。ですが、最近は夜間のトイレ利用時にズボンの上げ下ろしの介助が必要になって来ました。
2	3	97	女	大迫	24	0	24	口腔内からの出血が続き 6 月入院され輸血を受けて、一時改善しましたが、貧血はみられるようですが、内服薬にて経過観察中です。
3	3	94	女	大迫	30	0	30	頬のできものが皮膚がんと診断され、手術することとなり、持病もあることから、中央病院紹介となっております。
	介護 度	年 齢	性 別	住所	通い (回)	訪問 (回)	宿泊 (回)	備 考

	度	齢	別		(回)	(回)	(回)	
4	4	89	女	花巻	31	0	31	ご家族の希望によって施設にてお看取する予定です。先月に引き続きプリン等の口当たりの良いものしか摂取していただけない為、ご家族と相談し、市販のプリンや杏仁豆腐等を購入しております。摂取量維持しております
5	5	90	女	花巻	31	0	31	自力排尿できず尿道カテーテル留置となっている。ご家族話し合いの結果施設でのお看取りのご希望受けております。現在の食事量は回復し「お粥・ミキサー食」を介助にて完食されております。糖尿病もあり現在褥瘡が完治せず毎日処置を続けています
6	支 2	92	女	大迫	8	12	0	週 2 回の通いサービスと訪問サービスを週 3 回利用。長男と二人で生活している。今月末にて長男が退職するため 4 月からは訪問サービスの中止の申し出があり、通いのみの利用となります。
7	1	93	女	大迫	9	0	0	週 2 回の通いサービスを利用。息子様と 2 人暮らし当初はお孫さまが毎週泊りに来て支援されていましたが、貧血症状が内服により安定し、食事の準備をするまでに回復され、自立した生活を送っています。
8	1	87	女	石鳥谷	22	0	0	通いサービスを月平均 20 回程度利用。在宅酸素を使用しております。同居している娘様が施設職員として勤務しており、出勤に合わせて利用している事から、在宅酸素の管理も娘様が行っている。
9	1	90	女	大迫	9	0	1	サービスを増やしたいと家族から要望があり小規模多機能の通いサービスを利用する。本人から「交流をしたい。話をしたい」と話があり、利用時は職員も積極的に会話をして楽しんでいる。家族の仕事の都合で泊り利用。
10	3	91	女	大迫	19	8	9	R3 頃から膝が痛く一人で入浴出来ない状況であった。入浴は施設でお願いしたいとの要望があり、週 2 回の通いサービスと 2 泊 3 日の泊りサービスを利用。長男様と 2 人暮らし。心不全と糖尿病の悪化で内服再開となっております。心不全は改善傾向、内服薬が 1 錠減量となっております。特養に申し込まれています
11	2	87	女	大迫	8	13	0	息子様の送迎で週 3 回透析に通院しており、通院の無い日に週 3 回の訪問サービスを継続し「安否確認」と室内の状況確認を行っています。週 2 回の通いサービスを利用し、午前中に入浴を行っております。
12	支 1	91	女	大迫	3	0	0	通いサービスを週 1 回利用開始しております。知り合いの方と利用日が同じこともあり、会話を楽しまれる様子がみられます
13	2	86	女	大迫	21	3	17	R7.2.1 利用開始。独居。通いサービス週 2 回（火木）利用から開始しましたが、話し相手がいないと不満を訴えることが続きました。3/10 自宅トイレ前で転倒。右肋骨骨折疑いの診断受け、痛みもあることから急遽家族の同意をいただき泊りサービスに切り替えております。2 週間ほどで痛みも軽減し、一人で杖を使用して歩行できるまでに回復しております。3/27 よりアメリカに住んでいる娘様の帰国に合わせて自宅に戻られて生活しております。今後は週 2 回の通い利用となります

	介護 度	年 齢	性 別	住所	通い (回)	訪問 (回)	宿泊 (回)	備 考
14	介 4	90	男	石鳥谷	30	0	30	R7.2.15 利用開始。ぶどう苑から本人希望にて移られています。認知症の症状進行し、以前より怒りっぽくなり、他の利用者様とのトラブルも増えました。また、トイレに間に合わないことが増え夜間もパット交換の介助が必要になって来ました。
15	介 1	96	男	大迫	1	3	0	R7.3.12 利用開始。大迫包括様からの紹介で週 2 回の通いと週 1 回の訪問サービスを利用開始しましたが、3/20 近所の方から連絡をいただき、急遽訪問。話がうまくできず、家族の同意を得て救急車要請。脳梗塞の診断にて東和病院入院。登録解除となっております。その後も病院のカンファレンスに同行しましたが、飲み込みが出来ず、点滴で栄養補給している状態のため、長期療養出来る病院へ転院を検討することになっております。
合計					278	39	204	

○R7.3 月 通い 合計人数 (平均) 278 人 (8.96 人)
○R7.3 月 訪問 合計人数 (平均) 39 人 (1.25 人)
○R7.3 月 宿泊 合計人数 (平均) 204 人 (6.58 人)

■ 苦情・要望 0 件

■ 事故報告

	件 数	内 容
事故報告	1 件	転落
気付きハット (ヒヤリハット)	4 件	転倒のおそれ、誤薬のおそれ

事故報告

事例 1

G様 要介護 3 女性 97 歳

発生状況：コールにて訪室するとベッド柵の方向を向いて床に座っていた。

原因・要因：ベッドに車椅子から移乗しようとして出来なかったと聞き取る

対策：右足に力が入りにくくなってきており、移乗の際にはコールを押して職員を呼んでいただくこととした。

活動等実績

● 研修、行事、視察受け入れ等実績状況

日 付	区 分	内 容
3/3	行 事	ひな祭り
3/7	研 修	医療連携研修会
3/12	研 修	感染対策・ヤングケアラー研修会
3/14	行 事	ホワイトデー おやつ作り（たこ焼き風ホットケーキ・チョコトッピング）
3/21	行 事	誕生会
3/22	行 事	カレーライス作り
	行 事	
	行 事	

■会議等

日 付	会 議 名 称	内 容
3/6	運営推進会議	利用者状況報告等
3/13	介護事業リスク等検討委員会	身体拘束・高齢者虐待・リスク等
3/18	運営会議	事業所報告と運営に関する会議
3/21	ぶんどかんどスタッフ会議	ケアプラン説明、利用者の処遇、業務改善等

小規模多機能ホームぶんどかんど 利用者状況

■小規模多機能型居宅介護事業所 令和7年 4月 実績

○要介護別内訳 (R7.4月末日 現在)

要支援 1	2
要支援 2	1
要介護 1	3
要介護 2	3
要介護 3	4
要介護 4	2
要介護 5	1
更新中	
計	16

※介護度区分変更手続き中の利用者を含む
(申請時点の介護度を計上)

月初利用登録者 14 人
新規利用登録者 2 人
利用終了者 0 人
月末日時点登録者 16 人

※平均介護度 2.24

○利用状況・実績

	介護 度	年 齢	性 別	住所	通い (回)	訪問 (回)	宿泊 (回)	備 考
1	3	90	女	石鳥谷	28	0	29	長期宿泊サービスを利用。車イスを使用している。全体的に動きはゆっくりですが自立していました。ですが、最近では夜間のトイレ利用時にズボンの上げ下ろしの介助が必要になって来ました。
2	3	97	女	大迫	26	0	26	足に力が入らず、立位保持が困難となり、トイレで排泄が困難となりました。昼夜問わずオムツ交換が必要になりました。
3	3	94	女	大迫	30	0	29	頬のできものが皮膚がんと診断され、手術することとなりました。持病もあることから、中央病院ドクターより心不全があり、全身麻酔は困難と判断され、医大に紹介 4/30 日帰りで手術となりました。その日は自宅に帰宅し、娘様と一緒に泊まっております。
4	4	89	女	花巻	30	0	30	ご家族の希望によって施設にてお看取する予定です。先月に引き続きプリン等の口当たりの良いもののしか摂取していただけない為、ご家族と相談し、市販のプリンや杏仁豆腐等を購入しております。摂取量維持しております
5	5	90	女	花巻	30	0	30	自力排尿できず尿道カテーテル留置となっている。ご家族話し合いの結果施設でのお看取りのご希望受けております。「お粥・ミキサー食」を介助にて完食されております。糖尿病もあり現在褥瘡が完治せず毎日処置を続けています
6	支2	92	女	大迫	8	0	0	週2回の通いサービスと週3回の訪問サービスを利用していたが、長男が退職した事により自宅での支援が可能となり、4月からは訪問サービスを中止し、通いのみの利用となりました。

特定非営利活動法人とにもあゆむ会

7	1	93	女	大迫	8	0	0	週 2 回の通いサービスを利用。息子様と 2 人暮らし当初はお孫さまが毎週泊りに来て支援されていましたが、貧血症状が内服により安定し、食事の準備をするまでに回復され、自立した生活を送っています。
8	1	88	女	石鳥谷	24	0	0	通いサービスを月平均 20 回程度利用。在宅酸素を使用しております。同居している娘様が施設職員として勤務しており、出勤に合わせて利用している事から、在宅酸素の管理も娘様が行っている。
9	1	91	女	大迫	10	0	1	サービスを増やしたいと家族から要望があり小規模多機能の通いサービスを利用する。本人から「交流をしたい。話をしたい」と話があり、利用時は職員も積極的に会話をしています。家族の仕事の都合で泊り利用。
10	3	91	女	大迫	16	8	7	R3 頃から膝が痛く一人で入浴出来ない状況であった。入浴は施設でお願いしたいとの要望があり、週 2 回の通いサービスと 2 泊 3 日の泊りサービスを利用。長男様と 2 人暮らし。膝が痛くトイレに行くにも苦勞していましたが、手すりの設置で何とか自分で排泄出来ています。心不全は糖尿病改善傾向、内服薬が血圧の薬・心不全の薬共に半分量に減量となっております。特養に申し込まれています
11	2	87	女	大迫	8	12	0	息子様の送迎で週 3 回透析に通院しており、通院の無い日に週 3 回の訪問サービスを継続し「安否確認」と室内の状況確認を行っています。週 2 回の通いサービスを利用し、午前中に入浴を行っています。
12	支 1	91	女	大迫	5	0	0	通いサービスを週 1 回利用開始しております。知り合いの方と利用日が同じこともあり、会話を楽しまれる様子がみられます
13	2	86	女	大迫	27	0	23	R7. 2. 1 利用開始。独居。長男妻が必要時に応じて通って支援されてきました。3/10 より 4/27 まで泊り利用。現在は週 2 回の通い利用。本人も慣れたのか娘様がアメリカに戻った後は、ここで泊り利用して生活したいとの意向でしたが、ご家族様の強い希望にて、はやちねの里に 5 月 19 日より移られる予定です。
14	介 4	90	男	石鳥谷	30	0	30	R7. 2. 15 利用開始。ぶどう苑から本人希望にて移られています。認知症の症状進行し、以前より怒りっぽくなり、他の利用者様とのトラブルも増えました。また、トイレに間に合わないことが増えパット交換の介助が必要です。
15	介 2	85	男	大迫	28	0	28	R7. 4. 3 利用開始。脳出血後遺症のため左麻痺。圧迫骨折のため南昌病院入院。退院され、そのまま泊りサービス利用となっております。携帯電話を所持しご家族や知人とお話されています。
16	支 1	88	男	大迫	3	0	0	R7. 4. 5 利用開始。週一回の通いサービス利用。自宅で 1 日おきに入浴しているので、入浴希望はなし。本を読んだりパズルをしたり自分のペースで過ごされています。
	合計				302	20	233	

○R7. 4 月 通い 合計人数 (平均) 302 人 (10. 0 人)
○R7. 4 月 訪問 合計人数 (平均) 20 人 (0. 66 人)
○R7. 4 月 宿泊 合計人数 (平均) 233 人 (7. 76 人)

■ 苦情・要望 1件

電話を受けた職員が、相手の連絡先を伺わず、また、担当の職員にも伝え忘れていた。

■ 事故報告

	件 数	内 容
事故報告	1 件	転落
気付きハット (ヒヤリハット)	3 件	転倒のおそれ、誤薬のおそれ

事故報告

事例 1

G様 要介護 3 女性 97 歳

発生状況：おやつの声掛けに訪室すると床に倒れ、下唇から出血していた。

原因・要因：洗濯物を取ろうとして車椅子から立ち上がり、転落したと本人から聞き取る

対策：職員と洗濯物をたたみ、翌日の入浴の衣類準備も一緒に行うこととした。

活動等実績

● 研修、行事、視察受け入れ等実績状況

日 付	区 分	内 容
4/13	行 事	誕生会
4/13	行 事	花巻市一斉清掃に参加
4/22	行 事	お花見ドライブ（外川目） 4/20～25 お花見散歩（施設周辺）
4/23	行 事	たんぽぽの会（大型紙芝居）
	行 事	

■ 会議等

日 付	会 議 名 称	内 容
4/1	辞令交付式 3	
4/10	介護事業リスク等検討委員会 (書面開催)	身体拘束・高齢者虐待・リスク等
4/22	運営会議	事業所状況報告と運営に関する会議
4/23	ぶんどかんどスタッフ会議	ケアプラン説明・検討、利用者の処遇、業務改善等

グループホーム「ぶどう苑」通算 102 回運営推進会議

小規模多機能ホーム「ぶんどかんど」通算 100 回運営推進会議

令和 7 年度 第 1 回 運営推進会議

議 事 録

開催日 令和 7 年 5 月 15 日（木）
時 間 14:00～15:00
場 所 グループホームぶどう苑 談話室

出席者

- ・ 小原貴子様（利用者家族代表）
- ・ 清水絵理様（地域包括支援センター）
- ・ 清水正子様（地域住民代表）
- ・ 岩崎 純子様（大迫総合支所）
- ・ 川村 均 様（社会福祉協議会）
- ・ 下田 貞子様（地域住民代表）

ホーム関係者

- ・ 佐々木敬尚（理事長）
- ・ 桐田昌子（ぶんどかんど・管理者）
- ・ 佐々木尚之（副理事長）

欠席者

- ・ 佐々木貴洋（統括施設長）
- ・ 三浦美子（ぶどう苑・管理者）

議 題

1. グループホームぶどう苑の運営状況について
2. 小規模多機能ホームぶんどかんど運営状況について
3. 推進委員から（地域から）のご意見・ご要望
4. その他

理事長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。法人を設立して 20 年経過しております。家庭の延長で生活できるような施設運営が出来るようにと

考えております。理念に掲げている「笑う・ほめる de・元気になる」は利用者様に元気になってもらう為の理念であり、地域交流等で楽しみや笑いのある施設運営をしていきたいと思っているので、今年度もご協力宜しくお願い致します。

続いて佐々木副理事長と桐田管理者より、議題に沿って資料を基に説明を行いました。一連の説明のあと質疑応答に進み、次のような質問と感想を推進委員よりいただきました。

清水正子様：行事等盛沢山にやっていただきご苦労様です。質問ですが、お米が高くて大変ですが、施設ではどのように仕入れているのでしょうか？

理事長：私は以前から米を作っていたのですが、今は知り合いにお願いし米を作ってもらっています。その為、施設で食べる分は準備できています。去年は足りなくなり購入する事がありましたが、今年は秋まで大丈夫だと思います。

下田様：説明を聞いて頑張っているなと思いました。

岩崎様：いつも花巻市の申請等でしか会話する機会がないので、職員との交流も今後考えていければと思います。

小原様：利用者の家族として出席しました。施設内は明るい雰囲気の良いと思います。職員と話しても色々教えてくれるので、助かっています。

清水絵理様：認知症支援の施設として頑張ってほしい。

川村様：物価高騰により閉鎖する施設も増えている。国で何か考えてくれればよいと思っています。それから、社会保障の一つとして高齢者施設は安心して暮らせる施設でなければいけないと思っている。
私や地域から、施設や利用者へ何か支援とかできないか考えているが、何が出来るか思い浮かばない。

以上、貴重なご意見やご質問いただき大変感謝申し上げます。これで本日の運営推進会議は終了します。ありがとうございました。

次回運営推進会議予定 令和7年7月17日（木）時間は14時から

場 所 グループホームぶどう苑 談話室